

呼びかけ人会議 news no、4

事務局 FAX 03-5978-5052 e-mail:yobikakenin.tokyo@gmail.com

7月都知事選挙、いまできること
呼びかけ人を思いきってふやそう！

都知事選挙まで3ヶ月。新型コロナウイルスの感染拡大のもとでとりくみがさまざまな困難に直面させられています。小池都知事は自民党本部の支援の約束をとりつけるなど知事選挙モードを強めています。こうしたもとで、いまできる、都知事選挙に向けたとりくみが急がれています。

いま、呼びかけ人会議の「市民と野党の共闘で、小池都政の転換を」の運動が都民の間に共感をひろげており、呼びかけ人運営委員の大柳武彦さん（練馬区）は自分の活動の範囲で、女性団体、労働運動、市民運動の関係者などに声をかけ、切実な要求を語り都政の課題を話すことで「都政を身近なものにしよう」と語りかけ、また、都知事選挙の候補者が決まるのを待って

いるのではなく、「呼びかけられる人になるより、呼びかける人になろう」と、訴えることで19名の方に呼びかけ人になつてもらいました。また、女性運動の木原秀子さんはともに活動をしている仲間を11人、同じく佐久間千絵さん（同）が4人、弁護士黒岩哲彦さんが7人など、呼びかけ人の声かけで市民と野党の共闘をともにたたかう仲間が急速にひろがっています。

新型コロナウイルスの感染予防対策のため、明日4月3日夜の「都政を考える夕べ」（中野ゼロホール）は延期となりました。

都民施策を切りすて東京大改造につぎこむ

都民置き去りの予算が賛成多数で成立

3月27日、2020年第1回定例都議会が閉会。全会計（補正含む）15兆4896億円（一般会計7兆3893億円）の2020年度予算が自民、公明、都民ファーストなどの賛成多数で成立しました。

成立した予算は憲法が定める「健康で文化的な最低限度の生活」実現、自治体の使命である「住民の福祉の増進」（地方自治法）という最低限の自治体の使命を投げだすもので、切実な待機児解消、特養増設、消費税増税などの負担に苦しむ都民の支援などは見られず、その一方で、1m1億円の外かく環状道路や住民追出し、商店街潰しの特定整備路線、国家戦略特区による超高層ビルの開発などに巨額の税金をつぎ込むものとなっています。また、新型コロナウイルス感染予防策として補正予算が組まれましたが、自粛にともなう事業者や労働者の損失補償について何も示されず、さらに感染対策の最前線で活動する都立病院・公社病院の地方独立法人化を都民の反対を押しきって強行しようとしていることは許されません。

呼びかけ人会議運営委員会

日時：4月17日（金）13:30

会場：東京労働会館5階会議室

議題：情報交流

呼びかけ人組織

都政を考える夕べの開催

その他

れいわ、新社会、みどりの各党に共闘申し入れ

3月18日の野党5党への共闘申し入、懇談につづいて、れいわ新撰組（18日）、新社会党、緑の党（24日）への共闘申し入れがおこなわれ、東京における野党共闘の協議がすすめられている政党への申し入れが完了しました。

申し入れには永山利和さんほか、呼びかけ人代表が参加。要請文を手渡すとともに懇談をおこない、市民の側からの共闘実現のとりくみに歓迎の声が寄せられました。